PREMIUM ROOF SILICONE

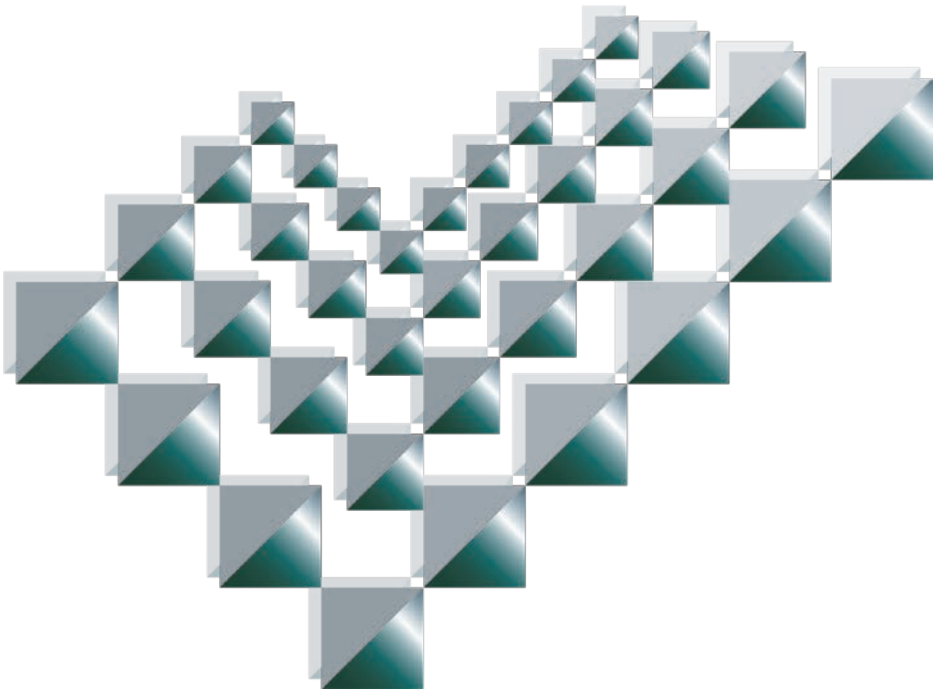
ONE PACK
PREMIUM
ROOF SILICONE

UV PROTECTION

超耐候形一液弱溶剤特殊シリコン樹脂屋根用遮熱塗料

一液プレミアム ルーフシリコン遮熱

エスケー化研のプレミアムリフォームで屋根もプレミアムに

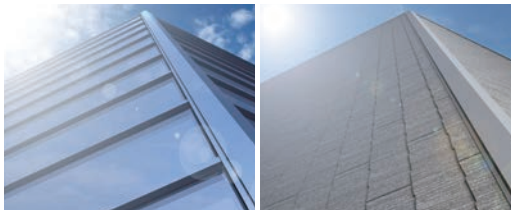


エスケー化研

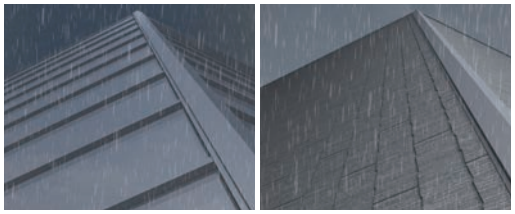
一液プレミアムルーフシリコン遮熱

一液プレミアムルーフシリコン遮熱はラジカルコントロール技術による卓越した耐候性・耐久性と、近赤外線を効果的に反射する遮熱性を有し、トタン屋根、彩色スレート瓦屋根の塗り替えに幅広くご活用いただける屋根用遮熱塗料です。特に寒冷地でのトタン屋根塗り替えで要求される仕上がり性、寒暖差による耐ひび割れ性にも優れています。屋根こそプレミアム塗料による塗り替えをお薦めします。

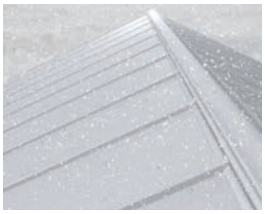
屋根は常に過酷な条件下におかれています



晴れの日も…



雨の日も…



雪の日も…

ラジカルの発生を極限まで抑える　ラジカルコントロール技術

塗膜内に発生するラジカルを独自の高緻密無機シールド層と高緻密有機シールド層のダブルシールドで抑えます。

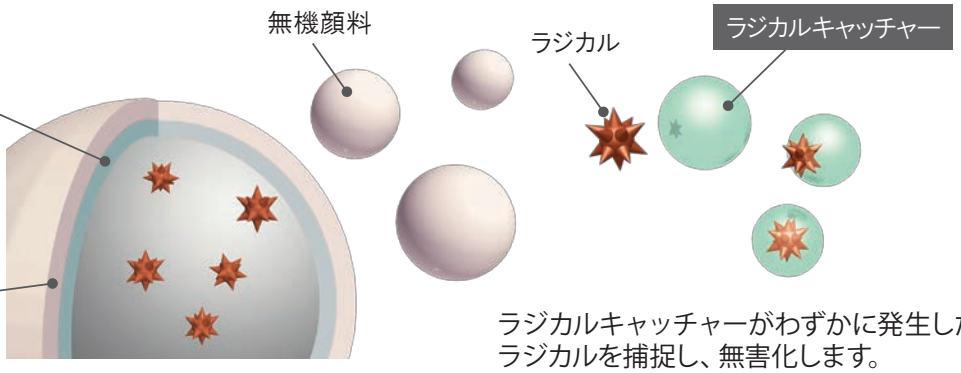
ダブルシールド

高緻密無機シールド層

無機シールド層により無機顔料の表面を保護。
ラジカルの発生を抑制する。

高緻密有機シールド層

無機顔料と超耐候性樹脂との分散性をコントロール。
無機シールド層のラジカル抑制効果を最大限に引き出す。



ラジカルキャッチャーがわずかに発生したラジカルを捕捉し、無害化します。

ラジカルコントロール技術を
動画でチェック

ラジカルコントロール技術のメカニズムを動画でわかりやすくご覧いただけます。

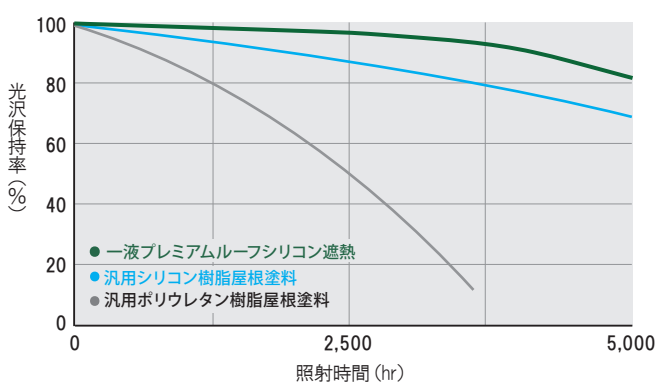


特長

PREMIUM 1　耐候性・耐久性

ラジカルコントロール技術により、紫外線（ＵＶ）や水等の劣化要因から屋根を保護し、塗り替え回数の軽減に寄与します。

◎促進耐候性試験（キセノンランプ法）



標準色 (全40色)

この他の標準色については、別途お問い合わせください。

CLR-156
アーバンレッド

CLR-112
マルーン

CLR-113
チョコレート

CLR-103
ココナッツブラウン

CLR-117
アースブラウン

CLR-118
ブラウン

CLR-102
チェスナットブラウン

CLR-108
アイビーブラウン

CLR-106
グレー

CLR-170
マウンテングレー

CLR-121
セピアブラウン

CLR-120
ナチュラルグレー

CLR-107
ミッドナイトグレー

CLR-144
ダークグレー

CLR-145
ブルーブラック

CLR-110
スレートブラック

CLR-124
サーフグリーン

CLR-104
グリーン

CLR-142
フォレストグリーン

CLR-146
モスグリーン

CLR-115
サックスブルー

CLR-116
ウルトラマリーン

CLR-128
ネイビー

CLR-109
ダークグリーン

★CLR-159
クールホワイト

★CLR-162
フレッシュグリーン

★CLR-161
コットンホワイト

★CLR-147
スノーホワイト

掲載の色見本は印刷のため、実物と異なる場合があります。

◎屋根用標準色 遮熱グレード

日射反射率	日射反射率	日射反射率
80%以上	80～50%	50～40%

各色の遮熱効果は、遮熱グレードでご確認ください。一般に、日射反射率が高いほど、遮熱効果も高くなります。
外壁の色との調和、周辺環境との調和を考慮し、お選びください。

注.遮熱グレードは、「JIS K 5602 塗膜の日射反射率の求め方」に準拠して測定した日射反射率(近赤外領域)を基にしています。なお、日射反射率は、下地の状態や施工環境、塗装仕様によって多少の差を生じます。

●同じ色で比較した場合、一液プレミアムルーフシリコン遮熱は、一般屋根用塗料よりも遮熱性能に優れています（日射反射率が高い）。
ただし、明度が高い色（★印の色など）ほど日射反射率の差が小さくなりますので、色選びの際には注意が必要です。

■標準施工仕様 彩色スレート瓦用

●下地：彩色スレート瓦（コロニアル・カラーベストなど）・スレート屋根　※一液下塗り　(23℃)

工程		材料	調合(重量比)	所要量(kg/m²)	塗回数	間隔時間(hr) 工程内	間隔時間(hr) 工程間	間隔時間(hr) 最終養生	備考
※1、2 下地調整		●高圧水洗（10～15MPa）で、ごみや汚れ、こけ、劣化塗膜（浮き、膨れ、割れ）などを除去してください。 ●高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながらデッキブラシ、たわし等で表面に付着したごみや汚れ、こけ、劣化塗膜などを除去してください。							—
乾燥		●水洗後は、十分に乾燥を行ってください。 ●下地が雨や結露で濡れている場合は十分に乾燥を行ってください。							—
1	下塗り（一液） ※3	一液マイルドシーラーＥＳホワイト	既調合	0.15~0.20	1~2	3以上	3以上 ※5 7日以内	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000mℓ/分 パターン幅：25～30cm
2	上塗り ※7、8	一液プレミアムルーフシリコン遮熱	100	0.22～0.28	2	3以上 7日以内	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000mℓ/分 パターン幅：25～30cm
		塗料用シンナーA	5~20	—					
3	縁切り	水切り部などで上下の瓦が材料で接着した箇所は、皮スキなどで縁切りを行ってください。							—

●下地：彩色スレート瓦（コロニアル・カラーベストなど）・スレート屋根　※二液下塗り　下地調整工程、乾燥工程は上記参照　(23℃)

1	下塗り（二液） ※3、4、6	マイルドシーラーＥＰＯホワイト　主剤	100	0.15～0.25	1~2	3以上	８以上 ※5 7日以内	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000mℓ/分 パターン幅：25～30cm
		マイルドシーラーＥＰＯ　硬化剤	33.3						
2	上塗り ※7、8	一液プレミアムルーフシリコン遮熱	100	0.22～0.28	2	3以上 7日以内	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000mℓ/分 パターン幅：25～30cm
		塗料用シンナーA	5~20	—					
3	縁切り	水切り部などで上下の瓦が材料で接着した箇所は、皮スキなどで縁切りを行ってください。							—

※1. 必ず高圧水洗またはデッキブラシ、たわしによる水洗いにより、ごみや汚れ、こけ、劣化塗膜（浮き、膨れ、割れ）の除去を行ってください。特に瓦の重なり部分は、入念にワイヤーブラシを用いて除去してください。これらが不十分であれば均一な仕上がりが得られなかったり、経年後、塗膜の膨れ、剥がれなどの原因となることがあります。また脆弱な旧塗膜は完全に除去してください。
※2. 下地の劣化が著しい場合や密着不良が見られる場合（全面に塗膜の剥がれが見られる場合や水洗後の付着強さが著しく低下する場合、またはガムテープによるクロスカットテーピング試験で剥離が見られる場合など）は、脆弱塗膜を全て除去した後、下塗りを塗付する前に、★エスケー強化シーラー（15kgセット）、または★ミラクシーラーEPO（15kgセット、6kgセット）を塗付してください。
※3. 希釈しますと付着力低下や性能低下などの原因となりますので、絶対に希釈しないでください。
※4. 下塗材として★マイルドシーラーEPOホワイトを使用する場合、工程間隔時間が短くなると、リフティングなどの不具合が生じる場合があるため、工程間隔時間を8時間以上とし、遵守してください。
※5. 高温条件下では硬化反応が著しく速まります。夏場は上塗りを3日以内に塗装してください。工程間隔時間が空きますと、上塗りとの密着が悪くなり、剥がれ、ちぢみの原因となります。3日を経過した場合は、再度下塗りを塗装するか、目荒しを行うなどしてください。
※6. この他下塗材として、★エスケーハイブリッドシーラーＥＰＯホワイト（15kgセット）も使用いただけます。ただし下地の劣化状況によっては適用できない場合があります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
※7. ★一液プレミアムルーフシリコン遮熱の★塗料用シンナーAでの希釈率は、スプレー塗り時で「10～20」、刷毛・ローラー塗り時で「5～15」となります。
※8. ★塗料用シンナーAで希釈する製品については、★塗料用シンナーAの他、★塗料用シンナーXもご使用いただけます。ただし、その他の材料の使用は避けてください。

■用途 （彩色スレート瓦用）

戸建て住宅・アパート等の建築物の勾配屋根など

■適用下地

彩色スレート瓦（コロニアル、カラーベストなど）、スレート屋根など

※彩色スレート瓦・ストレート屋根の場合、基材自体の強度低下が著しく、塗装できない場合もありますのでご注意ください。

荷姿

★一液プレミアムルーフシリコン遮熱	14kg石油缶　（標準塗坪50～63㎡）
★一液マイルドシーラーＥＳホワイト	14kg石油缶　（標準塗坪70～93㎡）
★マイルドシーラーＥＰＯホワイト	14kgセット　（主剤10.5kg／硬化剤3.5kg） （標準塗坪56～93㎡）
★マイルドサビガード（シロ）	16kg石油缶　（標準塗坪100～123㎡） 4kg缶　（標準塗坪25～30㎡）
★エスケーエポサビα（シロ）	16kg石油缶　（標準塗坪100～123㎡） 4kg缶　（標準塗坪25～30㎡）
★ＳＫマイルドボーセイ（シロ）	16kgセット　（主剤12.8kg／硬化剤3.2kg） （標準塗坪94～114㎡） 4kgセット　（主剤3.2kg／硬化剤0.8kg） （標準塗坪23～28㎡）
★スーパーボーセイエポ（シロ）	16kgセット　（主剤14.4kg／硬化剤1.6kg） （標準塗坪80～114㎡） 4kgセット　（主剤3.6kg／硬化剤0.4kg） （標準塗坪20～28㎡）

注）上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。
注）二液（主剤、硬化剤）タイプの製品の可使時間は、5時間（23℃）となります。



危険情報と安全対策

製品の取り扱いは、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。特に★印のついている製品は溶剤形の製品であるため、下記の点にご注意ください。
1.引火性の液体のため、火気厳禁です。
2.有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3.施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。
※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

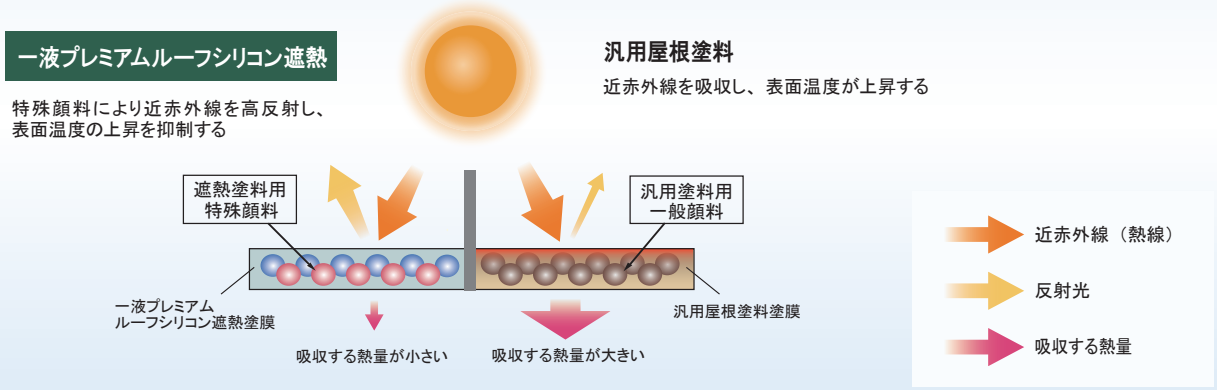
特長

PREMIUM 2 遮熱性

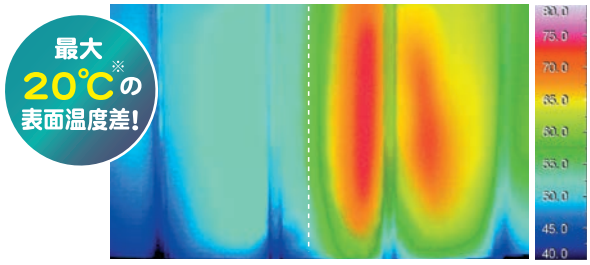
太陽光線の中で、放射熱エネルギーの強い近赤外線領域の光線を反射することで、優れた遮熱機能を発揮します。
屋根面から屋内への熱の移動を低減させ、室内の温度上昇を抑制します。

◎遮熱性能のメカニズム

特殊顔料により近赤外線（熱線）領域の波長の光線を反射し、吸収する熱量を減少させます。



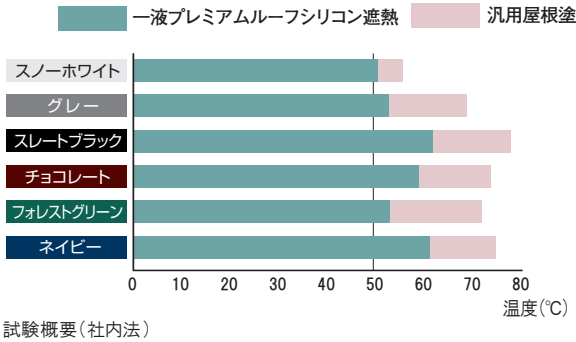
◎サーモグラフィー(熱画像)による温度比較



試験概要（社内法）
折板屋根を模した試験体表面に、赤外線ランプを照射し、加熱後の表面状態を観察すると、約20℃の差を生じていることがわかります。（色：スレートブラック）

※社内試験の結果によるものです。色目、地域性、方向等により異なります。

◎色相別の遮熱性能比較



試験概要（社内法）
アルミ板に各塗料を塗付したものを試験体とし、屋外南面45度の角度で設置し、試験時間中、1時間ごとに表面温度を測定した平均値を算出。（試験は、8月下旬の11時～15時）

PREMIUM 3 抜群の作業性

隠ぺい性の高い塗膜とレオロジーコントロールにより、塗り易く優れた作業性を発揮します。さらに一液タイプのため、計量・調合等の手間がなく、効率的な施工が可能です。

PREMIUM 4 仕上がり性

従来の屋根用塗料と比べ、滑らかで高光沢な塗膜表面を形成し、抜群の仕上がり性を提供します。

PREMIUM 5 防かび・防藻性

特殊設計により、かびや藻等の微生物汚染に対して強い抵抗性を示し、長期に亘り衛生的な環境を維持します。

■標準施工仕様 トタン屋根用

●下地：金属屋根（トタン）　(23℃)

工程		材料	調合(重量比)	所要量(kg/m²)	塗回数	間隔時間(hr) 工程内	間隔時間(hr) 工程間	間隔時間(hr) 最終養生	備考
下地調整		●ディスクサンダー、ワイヤーブラシなどで、さびを完全に除去してください。 ●高圧水洗で浮き、劣化被膜などを完全に除去した後、乾燥させてください。 ●ゴミ、汚れなどを完全に除去し、清浄な面としてください。							—
1	下塗り（一液）※1、5	マイルドサビガード（シロ）	100	0.13～0.16	1	—	3以上 ※8 1ヶ月以内	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000mℓ/分 パターン幅：25～30cm
		塗料用シンナーA	5～15	—					
2	上塗り ※3、4	一液プレミアムルーフシリコン遮熱	100	0.22～0.28	2	3以上 7日以内	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000mℓ/分 パターン幅：25～30cm
		塗料用シンナーA	5～20	—					

●下地：ガルバリウム鋼板など　下地調整工程、上塗り工程は上記参照　(23℃)

1′	下塗り（二液）※2、6、7	SKマイルドボーセイ（シロ）主剤	100	0.14～0.17	1	—	8以上 ※8 14日以内	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000mℓ/分 パターン幅：25～30cm
		SKマイルドボーセイ 硬化剤	25						
		塗料用シンナーA	0～10	—					

※1. ★マイルドサビガード（シロ）の★塗料用シンナーAでの希釈率は、スプレー塗り時で「10～15」、刷毛・ローラー塗り時で「5～10」となります。
※2. ★SKマイルドボーセイ（シロ）の★塗料用シンナーAでの希釈率は、主剤100に対してスプレー塗り時で「5～10」、刷毛・ローラー塗り時で「0～10」となります。
※3. ★一液プレミアムルーフシリコン遮熱の★塗料用シンナーAでの希釈率は、スプレー塗り時で「10～20」、刷毛・ローラー塗り時で「5～15」となります。
※4. ★塗料用シンナーAで希釈する製品については、★塗料用シンナーAの他、★塗料用シンナーXもご使用いただけます。ただし、その他の材料の使用は避けてください。
※5. この他下塗材(一液)として、★エスケーエポサビα（シロ）もご使用いただけます。
※6. この他下塗材(二液)として、★スーパーボーセイエポ（シロ）、★ミラクボーセイM（色：シロ、18kgセット、4kgセット）、★クールタイトプライマー（色：シロ、16kgセット、4kgセット）もご使用いただけます。
※7. 下塗材として★SKマイルドボーセイ、★スーパーボーセイエポ、★ミラクボーセイM、★クールタイトプライマーなどの二液エポキシ樹脂さび止め塗料を使用する場合、下塗りの工程間間隔時間が短くなるとリフティングなどの不具合が生じる場合があるため、工程間間隔時間を8時間以上とし、遵守してください。
※8. 高温条件下では硬化反応が著しく速まります。夏場は上塗りを3日以内に塗装してください。工程間間隔時間が空きますと、上塗りとの密着が悪くなり、剥がれ、ちぢみの原因となります。3日を経過した場合は、再度下塗りを塗装するか、目荒しを行うなどしてください。
※9. 下地の劣化が著しい場合や密着不良が見られる場合（全面に塗膜の剥がれが見られる場合や水洗後の付着強さが著しく低下する場合、またはガムテープによるクロスカットテーピング試験で剥離が見られる場合など）は、脆弱塗膜を全て除去してください。
※10. 作業環境や形状によってさびを完全に除去できない部位には、下塗材を塗装する前に、予め★サビフィックス（18kgセット、4.5kgセット）で補修塗りを行ってください。
※11. 腐食が進行している場合（赤さびが発生している場合）、過酷な環境条件下及び耐久性を必要とする場合は、脆弱塗膜を全て除去した後、★スーパーボーセイエポ（シロ）、または★SKマイルドボーセイ（シロ）、★ミラクボーセイM（シロ）をご使用ください。

■用 途（トタン屋根用）

戸建て住宅・アパート・工場等の建築物の勾配屋根
（金属屋根・トタン屋根）など

■適用下地

カラー鋼板、カラートタン、ガルバリウム鋼板

■施工上の注意事項

- 基材自体の反りや割れ、剥がれなど強度低下が著しく、塗装できない場合がありますので、ご注意ください。
- ゴミやほこり、砂、樹液などの汚染要因は、予め塗装前に水洗い等で十分に除去した後、さらに十分に乾燥させ、清浄な面にしてください。
- 水洗時は滑りやすくなるため、十分に注意してください。
- 水洗後は、十分に乾燥させてください。乾燥が不十分な場合、密着性が低下し、塗膜の膨れや剥れなどの原因となる場合があります。
- 金属露出部がある場合は、発錆防止のため、水洗後の水分を直ちに拭き取ってください。寒冷地や冬期に施工する場合は、朝露や結露の発生に注意してください。
- ディスクサンダーやワイヤーブラシ、サンドペーパーなどを用いて、さびを入念に除去してください。
- 旧塗膜に浮きや剥離箇所があれば、その周辺を含め、入念にケレン除去してください。
- トタン下地が見えている所や、さびの生じている箇所は、ケレン後必ずさび止め塗料を塗装してください。
- 施工においては、下地の状態の応じた適切な下塗材をご使用ください。下塗材が適切でないと、十分な遮蔽効果などが得られない場合があります。
- 改装工事において、溶剤などの影響で、膨れやちぢみなどの塗膜異状が発生することがあります。試験施工で確認の上、本施工に入ってください。
- 上塗材の希釈率は試験施工などにより決定し、それ以降は同一の希釈率で使用してください。なお、希釈率は色目相及び施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。
- 希釈では、他の材料の使用は避けてください。
- 材料を希釈しすぎると、隠ぺい力不足やたれ、透けなどの仕上がり不良、色別れ等の原因となりますので、注意してください。
- 異なる色目で塗り重ねる場合、2回目の上塗りが1回目の上塗りを溶かし、ラインや帯がにじむ場合がありますのでご注意ください。
- 瓦の上下に隙間がなければ、結露水の通気が不十分となり、素材の腐食・漏水の原因になる場合があります。
- 防かび、防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび、防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- かびや藻が付着している場合は、「SKKカビ除去剤#5（塩素系）」にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- 乾燥過程で、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみ、艶引けの発生につながる場合があります。特に山間部等の結露しやすい地域や昼夜の寒暖差の大きい時期は乾燥時間を確保するようにしてください。（原則として午前9時～午後3時が推奨施工時間です。）
- 施工時は、飛散防止のため、十分に養生を行ってください。
- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- 十分な塗膜性能を確保するため、所定の塗回数、所要量、膜厚を確保してください。
- 塗り重ね時間は環境（温度、湿度、換気、風通しやすさ）や膜厚によって変わります。
- 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 波型トタンの山部分や、トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は膜厚が薄くなりがちです。先に拾い塗りすることをお薦めします。
- 積雪の影響を最も受けやすい軒先の部分、瓦棒の凸部はこすりつけるように増し塗りを行ってください。
- 工程間間隔時間は厳守してください。工程間間隔時間を過ぎた場合は、目荒しを行ったのちに塗装してください。
- 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
- 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りと仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
- 二液タイプの製品は、所定の割合で混合し、ポットライフの時間内（5時間以内）に使い切るようにしてください。
- 使用した塗装機器は★ラッカーシンナーなどで洗浄してください。
- 有機溶剤を使用している材料は、施工・保管に十分配慮してください。
- ★マイルドサビガード、★エスケーエポサビα、★一液プレミアムルーフシリコン遮熱では、スプレーダストや製品の付着した布、紙、ローラーなどが積み重なると自然発火する恐れがあるため、廃棄するまで水に漬けるなどして安全に保管してください。
- アルコールや油脂分（人の手など）が付着すると塗膜が軟化し、色移りすることがありますので、ご注意ください。
- ゴムやプラスチック等、可塑剤を含む部位に直接触れると軟化や剥離を生じることがありますので、そのような場所への塗装は避けてください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 気象条件により被塗装面に結露が発生した場合には、塗膜の密着不良を生じますので、施工を避けてください。（原則として午前9時～午後3時が推奨施工時間です。）
- 夏場など下地が高温時（50℃以上）に施工すると発泡、泡かみの原因となりますので、施工を避けてください。
- 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に撹拌してください。
- 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

エスケー化研株式会社

URL https://www.sk-kaken.co.jp

本　社 大阪府茨木市中穂積3−5−25　☎ 072-621-7733

札幌支店 011-784-4000　東京支店 03-3204-6601　埼玉支店 048-686-2391　北陸支店 076-266-1041　京都支店 075-646-3967　神戸支店 078-671-0451　高松支店 087-865-5411
仙台支店 022-259-2431　千葉支店 043-304-0411　横浜支店 045-820-2400　名古屋支店 052-561-7712　大阪支店 072-621-7721　広島支店 082-943-5043　福岡支店 092-629-3427

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。
特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

[製作年月:2026年6月](260615.YO-1)